

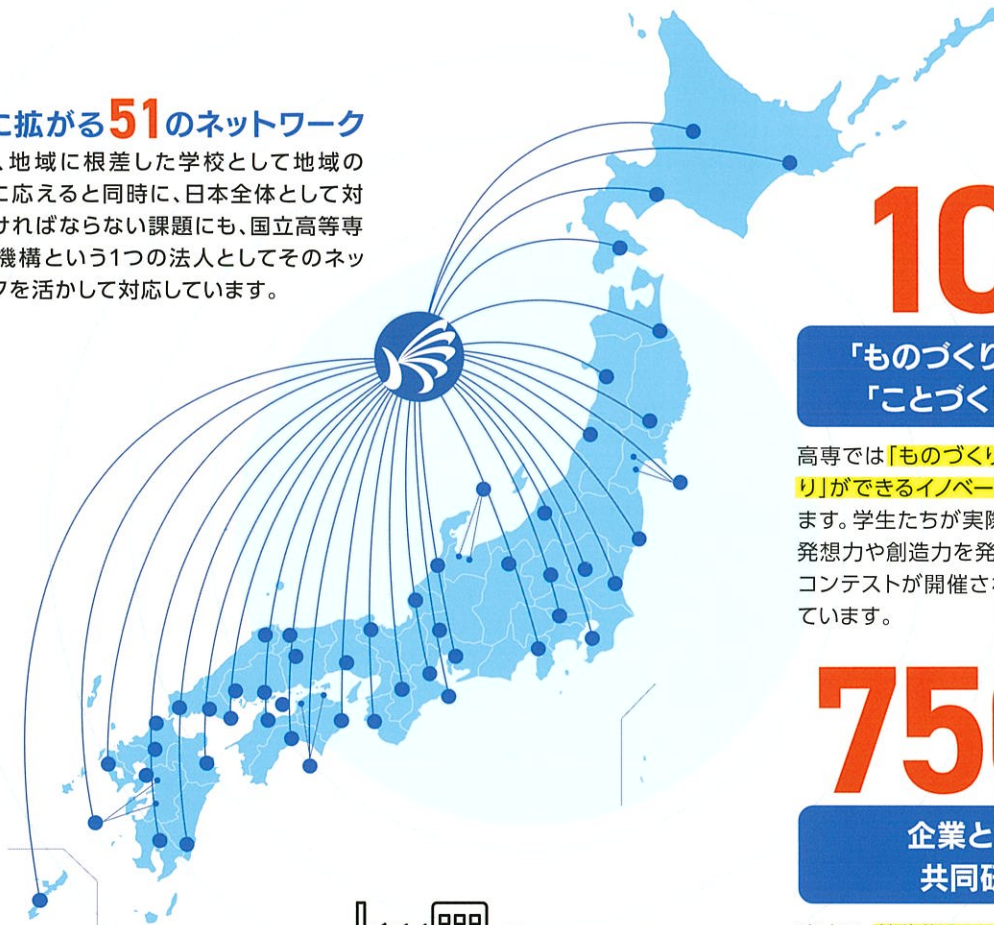
高専との連携が生む

企業の新たな可能性

高専は、ユニークな教育カリキュラムと全国に広がる高専ネットワークを活かし、「共同研究」や新規プロジェクトの創出を行っています。また昨今その必要性が高まっている「従業員のリスキル」や「CSR活動」についても、様々な企業とのコラボレーションを通じて実施しています。高専は、今後さらに多くの企業の皆様との連携の機会を得たいと考えています。

全国に広がる51のネットワーク

高専は、地域に根差した学校として地域のニーズに応えると同時に、日本全体として対処しなければならない課題にも、国立高等専門学校機構という1つの法人としてそのネットワークを活かして対応しています。



100%

「ものづくり」人材から
「ことづくり」人材へ

高専では「ものづくり」だけでなく「ことづくり」ができるイノベーション人材を育成しています。学生たちが実際の社会ニーズに応える発想力や創造力を発揮する場として、様々なコンテストが開催され、多くの学生が参加しています。

750

(令和5年度)
件以上

企業との豊富な
共同研究実績

高専は、特許権をはじめとする知的財産権を1,400件以上出願(令和5年度)するなど、研究にも注力しています。産業界との共同研究も盛んで、「エネルギーと環境」、「介護・医工連携」などの分野で優れた研究成果を上げています。

100%

企業向け
技術相談窓口の設置

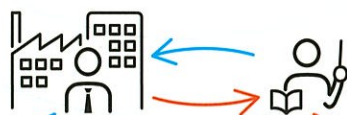
高専には約4,000人の研究者が所属し、多くの研究シーズを有しています。企業からの相談や様々な社会的課題に対応するため、技術相談、共同研究、受託研究に対応するための窓口をすべての高専と高専機構に設置しています。



64人

産業界の知見を取り入れる
副業人材

高専には60名以上の企業人が、副業として様々な業務に従事しています(令和6年度)。その中でも代表的なものが、社会経験を活かして実践的な授業を行う「副業先生」です。学生にとって最新の知見を学べる貴重な機会となっている一方、「副業先生」である企業人からも「知識の整理をする良い機会となった」など、好意的な声が寄せられる取組みです。



企業と高専連携のシナジー



企業とwin-winな
関係を築く高専

企業と高専の連携は双方に利点があります。高専にとっては、産業界の最新の知見を教育に取り入れることができるといったメリットが、企業にとっては、学生へアピールする場や自社産業を担う人材育成、社員のリカレント教育の場として、あるいは社会貢献の一環として自社ブランドを発信する機会として利用することができる、といったメリットが考えられます。

創造から実践まで

無限の可能性あふれる高専

「不確実な時代」の今、多くの企業が柔軟な対応力による革新的なビジネス創出を求めています。中でもDX推進や持続可能性の強化を実現する「課題解決型」人材が必要とされています。15歳から大学と同等レベルの学習環境で様々なテクノロジーの知識とスキルを体系的に習得する高専生は、そのニーズを満たす存在として注目されています。理論の理解に留まらず、リアルな課題を「知恵」と「チームワーク力」で解決へ導く実践力を備えた高専生の姿と彼らを取り巻く環境をご紹介します。



20倍

非常に高い求人倍率

高専は、高度な実験設備と博士号を持つ教員を有し、大学と同程度の専門知識と、実験・実習に基づく高い技術を身につけた学生を育てています。このような高専卒業生に対する産業界からの評価は高く、求人倍率は20倍を超える(令和5年度)など、ほかの学校種に比べて極めて高い水準を維持しています。



15歳 → 20歳

幅広い年齢層

専門分野が異なる15歳から20歳までの幅広い年齢の学生が学びを共にする、高専のユニークな環境のもとで感性豊かな学生時代を過ごすことによって、高専生の豊かな発想が育まれます。

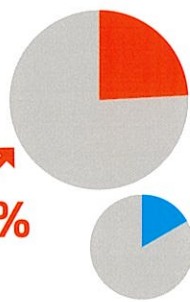


学生の年間起業数(卒業生含む)

課題発見と解決能力を持つ人材ニーズの高まりを受け、高専は、アントレプレナーシップ教育を通じて、高い技術力と実践力を兼ね備え、これまでになかった発想で社会課題を解決するイノベーション人材を育成します。

24.2%

高専で学ぶ
女子学生の割合



+16.7%

大学の工学分野の
女子学生の割合¹

大学より高い女子学生比率

高専は、女性用更衣室や女子トイレ・女子寮の整備を行うなど、ダイバーシティの推進に取り組んでいます。高専生のうち、約4分の1を女子学生が占めていますが、これは大学の工学分野の女子学生比率に比べて高い比率となっています。(令和6年度)



100%

人間力が育まれる学生寮の設置

全ての高専が学生寮を備え、多くの高専生が集団生活を送っています。学生寮には全国から学生が集まるため、学生の多様性を高めることができるほか、寮生活を通じて、社会人として必要とされるコミュニケーション能力や社会性・協調性を養うことができます。

【お問い合わせ先】

高専とのコラボレーションにご関心、ご質問等お持ちの企業、団体がいらっしゃいましたらぜひお気軽にご相談ください。全国からのお問い合わせをお待ちしております。

URL▶ <https://www.kosen-k.go.jp/infomation>

国立高専機構 学務課 042-662-3226

国立高専機構へのお問い合わせフォームはこちら



【出典について】

¹学校基本調査を基に独立行政法人国立高等専門学校機構が作成 ※出典が記載されていないものは、すべて高専機構独自調査によるものです。